

# 鶴見大学佛教文化研究所

## 紀要

第 13 号

平成 20 年 4 月

鶴 見 大 学

BULLETIN  
of  
THE INSTITUTE OF BUDDHIST CULTURE  
TSURUMI UNIVERSITY

No.13

April 2008

## CONTENTS

## Public Symposium :

- |   |                     |
|---|---------------------|
| Research Meeting in Memory of the Late Professor                        |                     |
| Tatsuhiko Omiwa   |                     |
| Introductory Words .....  | Shinjiro KAWANO...  |
| Presidential Address .....  | Keiji YANAGISAWA... |
| The Zen Master Keizan's Life and the Background of<br>his Thought ..... | Joten NODOMI...     |
| A Discussion  |                     |

Research Articles :

1. A Study on Ruijumyogisho comparing the Sainen-ji Version with the Kanchiin Version ---Explanations Written in Katakana Missing in the Kanchi-in Version (5) ..... Kyoji KOBAYASHI ... 43

2. Dogen's Life and Formation of 'Dogen-Zen' as seen in the Historical Evidences ..... Hiromichi HASHIMOTO ... 63

3. Kamalaśīla's position on *prasārigaviparyaya* ..... Ryusei KEIRA ... (1)

4. A Study of the Students' Attitude toward 'Buddhist Child Care' in the Department of Early Childhood Care and Education, Tsurumi Junior College ..... Tatsuzen SATO ... 99

## Miscellanea :

- ## **IBC Constitution and Prospectus, Regulations, and Annual Reports of Activities ..... 121**

*published by*  
Tsurumi University  
Yokohama, Japan

鶴見大学佛教文化研究所

紀要

第 13 号

鶴 見 大 学

\*題字  
研究所顧問  
高崎直道

## 目 次

〔公開シンポジウム〕 メインテーマ・大三輪龍彦教授追悼研究集会	
はじめに	河野眞知郎
挨拶	柳澤 慧二
瑩山禪師の生涯と思想的背景	納富 常天
〔論文〕	
西念寺本類聚名義抄における増補と脱漏	小林 恭治 43
—観智院本にないカタカナ注記について— (五)	
史実に見る道元の生涯と道元禪形成過程	橋本 弘道 63
Kamalaśīla's position on <i>prasaṅgaviparayā</i>	計良 隆世
仏教保育に対する保育科学生の意識変化について	佐藤 達全
—「仏教保育」の授業を中心にして—	99 (1)
〔雑纂〕	
平成十九年度 活動報告・研究概要・研究所規程・購入資料・投稿規定	

## 編集後記

紀要第十三号をお届けいたします。

歴史考古学の泰斗、大三輪龍彦先生が亡くなられ、一周忌を前に本研究所、文化財学科、鎌倉考古学研究所の共催で追悼研究集会を開催しました。本号にはそのプログラムの中から、納富常天先生のご講演の内容を掲載します。大三輪教授の薰陶を受けた若手研究者六名の発表論文は、別途考古研の方でまとめています。本号には右のほか、小林、橋本、計良、佐藤各所員の論文を掲載しましたが、橋本所員は昨年から加わった若い気鋭の所員です。

あるとき、大三輪先生に悉曇のことを伺つていると、やおらペンを取り出し、手元にあつた箸袋を開いて「キヤ・カ・ラ・ヴァ・ア」と書かれました。それを教材として悉曇書法の講義を始められたのです。箸袋は捨てられず、いまは私の宝物となっています。

(矢島記)

鶴見大学佛教文化研究所紀要 第十三号

平成二十年四月一日印刷  
平成二十年四月八日発行

編集人 矢島道彦  
発行人 柳澤慧二

221  
0013 横浜市神奈川区新子安一丁目五十  
印 刷 所

電 045 (439) 三四三三  
行 8501 横浜市鶴見区鶴見二丁目十三  
發 行 所 鶴見大學

230  
045 (581) 一〇〇一(代)  
電・横浜